

保護者の方からいただいた声を 紹介します



<登園前の不安>

- ★休園になり、3歳児と主に家で過ごしていて、子どもの発達への影響が心配でした。また、有り余る体力に困っていました。
- ★最初のうちは親も子もドキドキでした。感染しないように、感染させないように、心配がたくさんありました
- ★園での感染、園に感染を持ち込んでしまうかもしれない不安が、どちらも心配でした。また、園でのマスクの着用や手洗いがきちんとできるかどうか心配でした。
- ★感染の不安は変わらずあります。それでも、子供であってもそれぞれ自分でできる対策を怠らずに気をつけながら日常の生活を過ごす、ということを通じて学べたことは、まだしばらく続きそうなこの日々を乗り切っていく為に、とても大切なことだったと思います。

<安全・衛生面>

- ★ひまわり幼稚園では、コロナウイルス対策を徹底しており、安心して子供を預けることができました。先生方や保護者の皆様の行動規範が一般と比較して優れていると思えたことも、不安解消の一助となりました。
- ★安全に遊べる様に様々な工夫をしてくださった先生方には、改めて感謝しております。
- ★マスク着用、上履き着用、昼食も天気の良い日は外でレジャーシートを敷くことで、ソーシャルディスタンスの確保、教室も毎日消毒実施、毎日のバスタオルの持ち帰りなどなど、先生方の徹底した対策によりとても安心して子供を預けることが出来ました。
- ★ひまわり幼稚園は先生方が衛生面に気を配ってくださったので、ローカルの幼稚園に子ども達を通わせるよりもずっと安心して通わせることができました。
- ★幼稚園再開に向け、また賛否両論いろいろな反応があるかと思いますが、うちにとってこの6週間の経験は、絶対に必要だったと思います。毎日たくさんのアイデアで安全を保ちながら、子供達に幼稚園生活を送らせていただいたこと、先生方のリスクを追いながらも再開していただいたこと、感謝しかありません。
- ★登園の際、いろいろ配慮して頂いてるのがわかりましたし、不安なことは特に感じませんでした。再園にあたり、たくさんの努力をしていただいたことに感謝しています。

<登園時>

- ★徹底した毎日の google form（健康チェック）と、登園時に非接触体温計での検温があり、安心して通う事ができました。

<上靴>

- ★上履きへの履き替えは、日本の幼稚園に通っているようで衛生面でも安心でき、さらに日本の学校生活を教えるいい機会になりました。
 - ★行かせようと思ったことの一つに、園内での上履きの使用がありました。ここまでの配慮は現地のプリスクールではなかなかしてもらえないと思います。
 - ★日本で段差やスノコを使うように、子どもたちにわかりやすいよう、上履きに履き替える場所を区別できるといいなと思いました。外履きで踏んだ所で上履きに履き替えても感染のリスクを減らす効果が低下してしまうように思いました。
- 建物の構造上、日本のようにするのは難しい面がありますが、わかりやすい印をつける、脱ぐ場所を一定の位置にするなど、新学期に向けて検討していきたいと思っています。





<マスク・手洗い>

★私個人的には一日中マスクを着用していることのほうが気になり、息苦しさや暑さなどが子どもの負担になっているかが少し心配でしたが、外遊びやおやつ、ランチの時など外す機会も時々入れていただけたことがありがたかったです。

★現地のプリスクールではマスクをしていないと聞いたので、ひまわり幼稚園ではマスクの徹底をして頂いたのは良かったです。

★子どもたちへのマスク着用の重要性の説明、保護者への social distances とマスク着用の要請等を幼稚園側が徹底して下さり、皆さん実践されていました。

★先生方が本当にきめ細かく見てくださり、マスクの着用の指導や、こまめな手洗いや手指の消毒などもしっかりしてくださったので、特に問題なく過ごせたようでした。

<歯みがき>

★食後の歯磨きは大切だと思いますが、唾液がついているかもしれない歯ブラシの管理は大変だと思います。子供がちゃんと磨けているかは疑問なので、家庭でしっかり歯磨きするようにして幼稚園では口を濯ぐぐらいでもいいのかなと感じました。

★歯磨きは、不安材料になるので、要らないかなと思います。

→歯ブラシの保存場所の検討、また、歯磨きをすること自体の検討をしたいと思います。

<外遊び>

★暑い中お外で遊ばせてくださり、とても有り難かったです。

★外遊びの時間を増やしていただけたことや屋外での昼食、上靴に履き替えることなども安心できました

★毎日、たくさんの外での遊びや学びを先生が考えて、教えてくれた事で今まで以上に体力が付き、植物や虫に興味を示し、今も、すすんで外遊びをしたがる様になりました。

<換気>

室内の換気が冬場は大丈夫かなと気になりました。昼食時やお昼寝時はマスクを外していると聞いたので、その間どうしても無防備になってしまうかなと思いました。

→各教室には、外の空気を入れ込む装置が設備されていますが、冬場も定期的にドアを開けて換気をしていく予定です。

<人数>

室内での密集が心配でしたが、我が子のクラスに再登園したのは半数で、教室を広く使えたようで安心しました。6、7月期より感染者数が増える中、20名の子どもたちが過ごすことになるので、今の方が罹患リスク等心配不安を感じます。

→この時期、人数が少ない方が安心という声も頂きますが、子ども同士が触れあい、学び合うクラスにするには、園児数が少なくでは難しいこともあります。また、園児数が少ないと園の存続にも大きな影響が出てきます。新学期、20名で過ごす教室は6.7月に過ごされた教室より1.5倍広くて過ごしやすいと思いますが、換気やソーシャルディスタンスにも気をつけながら、たくさんの友だちと楽しめるクラス作りに努めていきます。



<友達関係・心のケア>

- ★何よりも子供には、お友達と楽しく過ごす時間が心身の健康的な成長にとって本当に大切だと、改めて実感しています。家で過ごす間はどうしても我儘になりがちで、やんちゃをする事も多くありましたが、幼稚園で先生やお友達と遊んだりお話しする中で、喜怒哀楽のバランスを取り戻して、親としても安心できました。
- ★子ども達や先生方との対面での触れ合いが出来た事がとても良かったです。娘の身体的にも精神的にも再登園させて良かったと思います。私も娘を預かっていただけた事で自由時間が出来、ストレスが減りました。
- ★ステイホームでお友達と会う機会が少なかった後での幼稚園生活により、友達との関わり方や、集団生活での感覚を戻す事ができました。
- ★子供たちへコロナウイルスというばい菌さんがいることも教えて頂き、子供たちもある程度理解した上でストレスなく対策実施し、幼稚園生活を楽しんでいると思います。
- ★通わせようか迷いましたが、この時期の子供は勉強よりも集団生活を通しての社会性を養うことが重要だと思い、行かせることにしました。子供は伸び伸びと幼稚園生活を楽しみ、毎日友達と思いきり遊べることがどれだけ子供にとって大切な、実感できました。

<家庭で>

- ★以前はマスクや手洗いなどを嫌がるが多かったのですが、今はあまり抵抗なくできています。感染予防の必要性をしっかりと学ぶことができたのはとても良かったです。
- ★外出禁止で家に居た時より手洗いが上手になったり、食卓ではいつも親の椅子に自分の椅子をくっつけて座るのを、コロナの時は離れて座るんだと言って自ら椅子を離して座ったりと、子どもの様子から幼稚園できちんと対応して頂いているのが伝わってきました。
- ★マスクの着用や手洗い・消毒は、幼稚園で毎日行っていたお陰で、大切な習慣とし意識することも含めて、すっかり定着しています。家でも、また外出時にも、親が言わなくても自分から丁寧な手洗いができるようになりました。マスクも嫌がらずに着用しています。幼稚園で根気強く指導してくださったお陰と、本当に感謝しております。
- ★毎日登園するようになったのを機に、家族全体の衛生管理の意識もより高まったように思います。コロナだけではなく、ただの風邪でも周囲に迷惑や心配をこれまで以上にかかることを、上の子も含めて改めて家族の中で確認し、自分の体調に気をつけていこうと話す機会が増えました。

